

瑞宝小綬章

遠藤利彦さん（仁井田）
出身：田村市



郡山警察署外勤係を振り出しに、昭和42年には本宮警察署次長も務め、相馬、いわき東、須賀川の各署長を務めた。主に警備係を長く務め、県内の治安を守ることに尽力された。

「在職中、本宮の方々にお世話になり、この地に住まいを持った。激動の昭和と共に生きてきて治安を守ったことが評価されたことはうれしい」と話してくれました。

平成20年 春の叙勲

受章されたみなさんをご紹介します。

春の叙勲は4月29日に発表され、元警察官で本宮署次長を務めたことのある遠藤利彦さんが瑞宝小綬章を受章しました。
また、これに先立ち12日には、警察・消防など著しく危険性の高い業務に励み、社会貢献した人を対象とする危険業務従事者叙勲が発表され、市内から渡辺孝雄さん、荒川政雄さんのお二人が瑞宝単光章を受章されました。
叙勲は、春と秋の年2回、春は4月29日、秋は11月3日付けで授与されます。
受章された皆さん、受章おめでとうございます。

瑞宝単光章

荒川政雄さん（高木）
出身：塙町



昭和37年に警察官となり、昭和49年に郡山広域消防に転職した。退職後は、郡山のデイサービスセンター所長なども務め、在職中からボランティアにも積極的に参加し、郡山のボランティア団体の副会長も6年間務めた。

「今回の受賞は意外であったが、市民の考えを聞きながら、市民が喜ぶ行政に務めた」と謙虚に話してくれました。

瑞宝単光章

渡辺孝雄さん（糠沢）
出身：本宮市



昭和28年県警採用。原町署をはじめ県警本部公安課など主に警備係を長く務め、安保闘争などの警備に尽力された。

安保闘争では、「負傷した同僚の姿が忘れられない。日本の民主主義を守ったと思えることが誇りです」と語り、今回の受章は、「私を警察官として送り出してくれた地域のみなさんのおかげです。これからも健康に留意しながら地域のために貢献したい」と話してくれました。

県知事表彰

荻野哲雄さん
(長屋)

県は5月2日に各種功労者知事表彰を発表し、地方自治、社会福祉、薬事衛生などの分野で功績のあった16人と2団体が表彰を受けました。
市からは地方自治の分野で功績のあった荻野哲雄さんが受賞し、県庁で9日に表彰式が行われました。

昭和58年から旧白沢村の議会議員を務め、議長も務めた。村政伸展と住民福祉の向上に尽力され、地方自治の発展に貢献された業績により受賞されました。



ご協力をお願いします！ 県下一斉クリーンアップ作戦

7月6日(日) 午前6時～

きれいで快適な環境づくりのため、今年も県下一斉クリーンアップ作戦が行われます。各町内会等を中心に河川、住宅周辺、公園、道路などの清掃活動にご協力をお願いします。

みんなが考えよう
いま、何が起きているのか 何ができるのか
6月は、環境月間です！



地球環境が大きな問題になっています。それらは、日常生活を送るうえで、あまり実感がない問題かもしれませんが、

しかし、地球温暖化、オゾン層の破壊、熱帯林の減少、生物多様性の低下など、地球規模の環境問題は、その深刻さを増しています。

また、大量消費による資源の枯渇は、それに頼ってきた私たちの生活を成り立たないものにしてしまっています。

豊かな地球環境を永く後の世代に引き継ぎ、持続的発展が可能な循環型社会を築き、さらに生活の質を高めるために、地球環境や私たち一人ひとりの行動について考えてみましょう。

何が起きているのか

地球の歴史は、46億年。人類が地球上に現れたのは、400万年～500万年前だといわれています。人口の増加は、約1万年前ごろから始まったと考えられていますが、20世紀に入ってから爆発的に増え続け、1900年に17億人足らずだった人口は、2005年に65億人を超えました。この人口の大幅な増加こそ、21世紀において世界の環境や社会の秩序を激変させる要因となっています。

一方、日本では人口減少時代を迎え、環境面でも新たな取り組みが求められています。現在の大量生産・大量消費・大量廃棄型のシステムは、地球環境に大きな負担をかけています。

◆空からの警告？◆

◆オゾン層の破壊

冷蔵庫やスプレー缶に広く使われたフロンが大気中に放出され、紫外線を緩和するオゾン層を破壊してきました。健康被害や生態系への悪影響が心配されます。

また、南極のオゾンホールは毎年大規模に発生し、南極大陸よりも大きな面積となっています。

◆地球温暖化

大気中の温室効果ガス（二酸化炭素など）濃度が増加す

ると、地球の平均気温が上昇し気候の変動や海面の上昇が起きます。

温暖化は、気候メカニズムに大きな変動を引き起こし、自然の生態系や農業生産等に大きな影響を与えます。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）では、地球の平均気温が1980～1999年平均に対して2100年までの間に1.1～6.4℃上昇すると予測しています。

日本は、温室効果ガスの排出量を1990年と比べ6%削減することを目標にしていますが、2006年度の総排出量は、逆に11.8%も増加しています。

◆地上からの警告？◆

◆地上で起きている熱帯林の減少や土壌の劣化、水質汚濁は大気汚染や気候変動と密接にかかわっています。これは、巡り巡って私たちの生活を脅かすものです。原因は、やはり人類の活動のようです。世界の森林面積も、年々減少しています。

◆問い合わせ先

生活安全課 環境保全係
(2)内線114

◆私たちにできること（例えば…家庭でできる地球温暖化対策）

■冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く
カーテンを利用して、太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れ冷暖房の設定温度を工夫しましょう。
年間約33kgのCO₂削減
年間約1,800円の節約



■シャワーを1日1分、家族全員が減らす
身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。
年間約69kgのCO₂削減
年間約7,100円の節約



■週2日往復8kmの車の運転をやめる
通勤や買い物の際、鉄道や自転車を利用しましょう。
年間約184kgのCO₂削減
年間約9,200円の節約



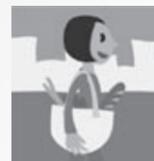
■1日5分間のアイドリングストップを行う
駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にもなります。
年間約39kgのCO₂削減
年間約1,900円の節約



■待機電力を50%削減する
主電源を切りましょう。長時間使わないときは、コンセントを抜きましょう。
年間約60kgのCO₂削減
年間約3,400円の節約



■買い物袋(マイバック)を持ち歩く
マイバックを持って買い物をしましょう。レジ袋を減らせます。
年間約58kgのCO₂削減



出典：全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ